

平成24年9月12日

野田佳彦・内閣総理大臣 殿

首相への提言

ここに、有志の議員とともに共有する、首相への提言がある。

政権交代の原点が薄れ、民主党の立ち位置が不明確になっている、という強い強い危機感を持つものである。

代表選挙投票日を前に、首相に、この提言を受け止めていただき、民主党の本来の立ち位置を、もう一度、原点から発信していただくことを強く願う。

この提言は、特に首相の発信が弱いと感じる社会保障、政治・行革等について提言すると同時に、民主党の本来の立ち位置を記したものである。

この提言の内容に関して、我々も当事者として、今後、実現に向けて全力を尽くすことはいうまでもない。

(参考) 民主党の結党の基本理念 (1998年4月) にある「私たちの立場」より

「私たちは、これまで既得権益の構造から排除されてきた人々、真面目に働き税金を納めている人々、困難な状況にありながら自立をめざす人々の立場に立ちます。すなわち「生活者」「納税者」「消費者」の立場を代表します」――。